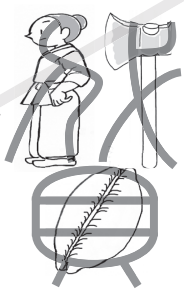

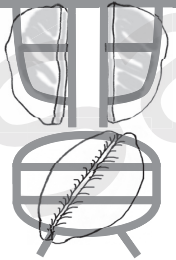



<p>漢字 画数 読み</p>	<p>【部首】</p>	<p>【貝】 12</p> <p>おん ヒ</p> <p>(ついでやす) (ついでえる)</p>	<p>【貝】 12</p> <p>おん ボウ</p>	<p>【貝】 13</p> <p>おん シ</p>
<p>筆順</p> <p>熟語と使い方</p> <p>練習</p>	<p>貸貸貸貸貸貸貸貸貸貸</p> <p>貸家 貸間 貸借</p> <p>貸間を提供する。</p> <p>貸貸貸貸貸貸貸貸貸貸</p> <p>費費費費費費費費費費</p> <p>消費 費用 学費</p> <p>費用がかかる。</p> <p>貿貿貿貿貿貿貿貿貿貿</p> <p>貿易 貿易風</p> <p>世界の国々と貿易する。</p> <p>資資資資資資資資資資</p> <p>資金 資料 資格</p> <p>配布された資料に目を通す。</p>	<p>はねろ とめる</p>	<p>はねろ とめる</p>	<p>はらう とめる</p>
<p>字の成り立ち</p>	<p>「代」は入れ替わること。貝がついて、お金を貸すことを表す。</p> 	<p>ひもがしばり切れないことから打ち消しを表す。弗に、貝がついて、むだにお金を使うことを表す。</p> 	<p>肉を二つに分けた様子に見て、交換することを表す。</p> 	<p>「次」は用意すること。貝がついて、お金を用意することを表す。</p> 

次の——線部の読みがなを書きなさい。4

(1) 長い年月を 費 やす。

(2) 配布された 資料 に目を通す。

(3) 会費 をはらう。

(4) 世界の国々と 貿易 する。

(5) 貸間 を提供する。

(6) 費用 がかかる。

(7) 資金 ぐりに苦勞する。

(8) 友人にノートを 貸 す。

★ 次の——線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。

□(1) 中国とのボウエキ。

□(2) 二階を親せきにまがしする。
代金をとって部屋をかすこと

□(3) たくさんのブツシを輸送する。
ゆそう

□(4) ボウエキフウがふく。

□(5) 旅行のヒヨウを積み立てる。

□(6) 備品のかし借りをする。

□(7) 法人設立にシユツシする。

(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)

□(8) わが家はシヨクヒがかかる。

□(9) 政治家がシサンを公開する。

□(10) 辞書をかす。

□(11) 保育士のシカクを持つ。

□(12) ガクヒをしはらう。

□(13) シホン主義についてまなぶ。

□(14) シヨウヒ税を計算する。

□(15) かしホンやの主人。
代金をとってほんをかす店

□(16) 百円ずつカイヒを集める。

(16)	(15)	(14)	(13)	(12)	(11)	(10)	(9)	(8)

<p>漢字 画数 部首</p> <p>読み</p>	<p>筆順</p> <p>熟語と使い方</p> <p>練習</p>	<p>字の成り立ち</p>
<p>【貝】 15 賛 おん サン</p>	<p>賛賛賛賛賛 賛賛賛賛賛 賛賛賛賛賛 賛成 絶賛 賛美歌 賛成に一票を投じる。</p>	<p>賛 宝物を持って先に進む人々を示し、わきから助けることを表す。</p> 
<p>【貝】 15 質 おん シツ (チ)</p>	<p>質質質質質 質質質質質 性質 質素 質問 おだやかな性質の持ち主。</p>	<p>質 ふたつのおの宝物で、値打ちが同じ物をおずけることを表す。</p> 
<p>【貝】 15 賞 おん シヨウ</p>	<p>賞賞賞賞賞 賞品 入賞 観賞 賞品を受け取る。</p>	<p>賞 商いを表す商と貝で、ほうびを表す。</p> 
<p>【貝】 10 財 おん ザイ (サイ)</p>	<p>財財財財財財財財財財財財 財産 文化財 家財 父の財産を受けつぐ。</p>	<p>財 川の流れをせき止める才と貝で、集めたお金を表す。</p> 



次の——線部の読みがなを書きなさい。6

□ (1) 私財 | を投じビルを建てる。

□ (2) 徒競走で | 入賞 | する。

□ (3) 質素 | な暮らしを心がける。

□ (4) 世界から | 賞賛 | を浴びる作品。

□ (5) 父の | 財産 | を受けつぐ。

□ (6) 賛成 | に一票を投じる。

□ (7) 賞品 | を受け取る。

□ (8) おだやかな | 性質 | の動物。

★ 次の——線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。

- (1) 優勝してシヨウキンをもらう。
- (2) 物のシツリヨウをはかる。
- (3) 国のザイセイを担当する。
- (4) サンビカが聞こえる。
- (5) カンシヨウ用の植物。
見て、心を楽ませること
- (6) 生徒のシツモンに答える。
- (7) ザイム大臣の職につく。

(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)

- (8) 大会のトクベツシヨウを取る。
- (9) よいザイシツでできた机。
- (10) 作品へのサンジヨ出演。
さんせいして力をそえる
- (11) ザイサンをゆずる。
- (12) 徒競走のイツトウシヨウ。
- (13) アクシツないたずら。
- (14) かれの提案にサンイを示す。
さんせいの気持ち
- (15) ブンカザイを保護する。
- (16) 新曲がゼツサンされる。

(16)	(15)	(14)	(13)	(12)	(11)	(10)	(9)	(8)

CCC 言語事項

1

文節と文節の関係

(できた数)

問

問一 次の(1)~(10)の各文の——線部の二文節は、アII主語・述語の関係、イII修飾・被修飾の関係、ウII対等(並立)の関係、エII補助・被補助の関係のどれにあてはまりますか。それぞれ記号で答えなさい。

- (1) ここに 一枚の 写真がある。
- (2) これは 父が 写した 写真である。
- (3) ホテルの 前で 写真を撮る。
- (4) 実物と 写真を 見比べる。
- (5) 宿題を 先に 済ませておく。
- (6) この イチゴは あまくて 大きい。
- (7) この 本は まだ 弟には 早すぎる。
- (8) 母の 言う とおりに やつて みる。
- (9) 赤組と 白組に 分かれて 戦う。
- (10) もう すぐ 桜も さくだろう。

問二

次の(1)~(13)の各文から「」の関係にあたる二文節を、それぞれ順番どおりに書きぬいて答えなさい。

- (1) 白い花が校庭にさきました。「主語・述語の関係」
- (2) 明日から冬休みが始まる。「修飾・被修飾の関係」
- (3) 父と母は旅行に出かけた。「対等(並立)の関係」
- (4) 読んでいた本を閉じる。「補助・被補助の関係」
- (5) ぼくはこの音楽が好きだ。「主語・述語の関係」
- (6) かわいた冷たい風がふく。「対等(並立)の関係」
- (7) おやつはテーブルの上に置いてある。「補助・被補助の関係」
- (8) ねむいだけでなく、おなかもすいた。「主語・述語の関係」
- (9) 雲がゆっくり空を流れてゆく。「補助・被補助の関係」
- (10) ダイヤモンドはとても高価だ。「修飾・被修飾の関係」
- (11) 明日は、社会科見学に行く日だ。「主語・述語の関係」
- (12) むずかしい問題が話し合われた。「修飾・被修飾の関係」
- (13) 赤ちゃんは、泣いたり笑ったりする。「対等(並立)の関係」

言語事項

2

文節と文節の関係

できた数

問

問一 次の(1)~(10)の各文の——線部の二文節は、アII主語・述語の関係、イII修飾・被修飾の関係、ウII対等(並立)の関係、エII補助・被補助の関係のどれにあてはまりますか。それぞれ記号で答えなさい。

(1) 教科書は まだ 新しくて きれいだ。

(2) わからない 問題を 教えて もらう。

(3) 通学路の とちゅうで 忘れ物に 気づく。

(4) ぼくの 消しゴムは 机の 中に ある。

(5) 親切に 席を ゆずって くれた。

(6) 箱の 中には 白い 紙が あった。

(7) ぼくの 出した 手紙は 届いたろうか。

(8) 兄と 姉は 二人とも 中学生だ。

(9) あの おかに のぼれば 海が 見える。

(10) 女の子が 駅前て 立っている。

問二 次の(1)~(8)の各文から「」の関係にあたる二文節を、それぞれ順番どおりに書きぬいて答えなさい。

(1) 残さず食べるには量が多い。「主語・述語の関係」

(2) 手前の窓が開いている。「補助・被補助の関係」

(3) 電車とバスが同時に発車する。「対等(並立)の関係」

(4) かけ算ならばぼくの弟だってできる。「主語・述語の関係」

(5) 父が急に笑いだす。「修飾・被修飾の関係」

(6) ふうとうに切手ははってある。「補助・被補助の関係」

(7) 富士山は美しい山です。「修飾・被修飾の関係」

(8) 夏休みには、海や山へ行きたい。「対等(並立)の関係」

問三 次の(1)~(4)の□の文節を修飾している文節を二つずつ書きぬいて答えなさい。

(1) あの店は、近所でも評判のすてきな□パン屋です。

(2) 早朝に桜の並木道を□散歩した。

(3) たなに置かれた花もようの□つぼは、母の旅行のおみやげだ。

(4) わが家のねこは、ソファでのんびり□ねることが好きだ。